



Sponsor a Child

クリスチャンパートナーズ

通信第 108 号

-
- | | |
|-----------------------------|---|
| ・発行日／2021年12月20日 | ・発行所／クリスチャンパートナーズ |
| ・本部／〒350-1126 川越市旭町 1-19-18 | ・電話 049-242-4338 |
| 日本基督教団 川越教会内 | ・ https://www.christian-partners.com/ |
| 郵便振替口座／00150-0-134994 | |
-

「光は暗闇の中で輝いている」 ヨハネによる福音書第1章5節

理事長 木ノ内一雄

私たちクリスチャンパートナーズ理事会は、11月30日にミャンマーのラシオにあるクリスチャンカレッジの Shwe Mee 女性教授とオンライン会議をしました。ミャンマーの状況は前号で書いたのと変わりはなく、国軍の支配とコロナ禍で銀行の引き落としはできず、外出の制限も続いていました。4年前、私がミャンマーを訪れたとき、人々は明るい顔で、新しい国造りへの意欲と熱意を感じました。今はそれどころではなくなっています。教授は「どうかミャンマーのために祈ってください」とおっしゃっていました。

前回の「恵みの家」への送金は、シンガポールからミャンマーへの訪問者に託され、無事に届けられたと CNEC シンガポール事務所から連絡が来ています。また、私たちが支援している6人の子どものうちの2人が自分の村に戻ったとの報告がありましたが、その後の詳細については分かりません。「恵みの家」のタン牧師からシンガポール事務所への手紙には、屋根と天井の損傷がひどく修理が必要であると書かれていました。街では人々は国軍を恐れ、命の危険を感じているようです。家や仕事を失った人も多く、お金や薬もなく、小学校にも子どもを安心して行かせられないとのことでした。

主イエスは光となってこの世に遣わされて来ましたが、当時のイスラエルの人たちもまた、暗い抑圧された世界に住んでいました。ローマ皇帝の人口調査のため、身重であったマリアは夫ヨセフとともにガリラヤのナザレから、はるばるベツレヘムまで旅をし、家畜小屋で主イエスを産み、飼い葉桶に寝かせました。宿屋はすでに客でいっぱいだったからです。そこは暗く、寒かったのではないのでしょうか。にも拘らず、幼子を見守るマリアの表情には不思議な安らぎを感じます。「光は闇の中に輝いている。」誰がこの子が世界を支配しており、神の国に変える力があるお方であると信じることができたでしょうか。

このお方こそ、私たちへの神からの贈り物です。私たちの支援金は、子どもたちにはありません。このお方への感謝であって、神がそれを用いてくださることを信じて、送っています。

ガーナ活動 2020 年度・年次報告 アモス・バンマリグ

抄訳 木ノ内和美

2020 年度は神の恵みにより、一層飛躍の年になりました。働き人の健康が守られ、伝道、教育、養護施設運営、農業、青年伝道において様々な活動ができました。地方における福音伝道が成功し、多くの村民が信仰に導かれました。奉仕者たちが訓練を受けて多くを学び、参加できなかった人々にも良い影響を与えました。これらの成功を神に感謝すると同時に、クリスチャンパートナーズのご支援に心から感謝しております。火災や洪水の時に皆様からのご支援が、どれほど私たちを救ってくださったか、はかり知れません。

1 地方における伝道活動

神のために働く力が与えられて、伝道活動を実践し、目標を達成することができました。伝道者たちは全力を尽くしています。いつの日にか、村から村へ行くためのオートバイが与えられるように祈ります。

統計的報告：牧師 35 名と、指導者 180 名に訓練の機会を与えました。

青年たちが、サッカーの試合のため、各 15 名のチームを 5 つ作って参加しました。

農業の訓練に、男子 200 名が参加し、女子 360 名が仕事に就き、青年たち 409 名が農業とスポーツに参加しました。

2 養護施設・学校経営

子どもたちの施設と学校への皆様の支援に心から感謝しております。子どもたちの数は増え、教育の質も上がっています。



養護施設での食事の様子



サッカー試合に集まった子どもたち

3 山羊育成プロジェクト

このプロジェクトでも貧困を減少させ、キリストへの回心者が多く与えられることにより、宣教活動を促進させることができました。山羊を売って収入を得ることで、子どもたちの教育や医療費、衣服の購入などに充てられます。

昨年度は 16 頭の山羊を購入し、8 家族に分配しました。単に人々の要求に応えるのではなく、本当に必要としている人に分けられるように心がけています。

4 農業分野においても、有機農法を指導しています。農民たちに新しい技術を指導する機会を提供しています。まだ多くの農民が化学農法が簡単だと思っていますが、私たちは、家族が食べる野菜を育てる家庭栽培も始めるように勧めてきました。収穫が多ければ売ることもでき、今年度は多くの農民が有機農法を取り入れ始めました。

5 青少年伝道

この地域に住む青年たちの生活も大きく変化したばかりでなく、改善されてきました。スポーツを通して地域が喜び、結束していきました。私たちは成績に応じた賞与を与えると同時に、聖書のメッセージを付け加えることにしています。

災害 しばしば農民の生活を脅かす予知できない災害は、今年も村の人たちを襲いました。ヴォルタ川上流の洪水で犠牲になった人々は、川岸で食物を探していたとのこと。6名が亡くなりました。一家の働き手と子どもを失った家族に、皆様からの支援金を支給しました。遺族に代わってお礼を申し上げます。(2020年9月に洪水見舞金として5万円送金しました。)

会計報告	1	山羊購入	4320 セディ	16 頭 (1 頭 270 セディ)
	2	家畜運搬費	600 セディ	
	3	指導者研修費	2000 セディ	
	4	養護施設食費	2500 セディ	
	5	材料費	150 セディ	
		合計	94200 セディ	



働く女性たち



伝道者たち

終わりに：

神のお恵みにより、2020年度は特に克服できない問題もなく、過ぎていきました。宣教活動のディレクターとして立たされている私、家族、理事、スタッフ、教会や地域に住む人々は、これまでの皆様との良い関係に心から感謝しております。神が今後も聖霊によって私たちを結び付け、神に栄光を帰するために働けるように祈ります。2021年にも、より良いパートナーシップが築かれそうですようお願い、感謝の言葉といたします。

西カリマンタン SAC 宣教活動報告 2021 年前期

教会の主であるイエス・キリストのお守りとお導きによって、2021 年の前半も SAC の活動が守られ、導かれたことを、感謝をもってご報告申し上げます。同時に、ご支援くださる皆様の上に、主のお守りを祈ります。

2019 コロナ大流行は、西カリマンタンをも襲い、まだ収束していませんが、SAC の活動は続いております。教会は礼拝を守り、SAC の子どもたちは勉強を続け、オンラインで年度末の試験に合格して、次の学年に昇級しました。

オンラインには良い点も、悪い点もあります。子どもたちは親と過ごす時間が増え、親たちの仕事を手伝うことができるようになりましたが、オンライン授業参加のための出費があり、また授業内容が理解できない場合もあります。村の電力・通信事情にも困難があります。

SAC 支援活動の継続が、子どもたちに主を知る機会を与え、人生の意味を考えさせ、信仰の先輩との交わりが向学心を育て、高校卒業後も学業を続けたい希望を与えています。6 月中旬から 7 月いっぱい学年末の休みの間、大学進学か、職業に就くか…悩んでいる子どもたちもいます。



SAC 活動に集まる子どもたち



教会学校での奉仕に活躍する年長の生徒たち

フィリピン養護施設では、子どもが 2 名卒業しましたが、施設の規則に従えない 3 人は退去させました。それで 5 月には 12 名でしたが、7 名入り、現在 19 名です。SAC 支援によって、高校・職業訓練所までの教育を受けられるので感謝です。

SAC プログラムに、皆様の変わらざるご支援をお願いいたします。 サロミ牧師



シャウリンが元気になりました

昨年 2 月に交通事故にあい、1 年余り休学を余儀なくされましたが、タンジュンプラ大学に戻り「情報システム」を勉強中。主の守りと支援者の祈りに感謝しています。（「通信」104 号参照）

~~~~~

【理事会報告】第 215 回理事会は 2021 年 6 月 28 日にウェブ会議で開催。ガーナプロジェクトの責任者エイモス・バンマリグ師、その夫人、協力者、職員がウェブ上で紹介され、日本の理事と交歓。2020 年度会計報告・2021 年度会計予算承認。「通信」107 号は 4 月 25 日発行済。

第 216 回理事会は 11 月 30 日ウェブ会議で開催。ミャンマーのユニオンクリスチャンカレッジの Shwe Mee 教授を招き、大学の現状について伺った。9、10 月会計報告承認。SAC 里子 8 名からクリスマスカード・近況報告到着。ミャンマーへの送金は様子を見る。「通信」第 108 号は年末発送。第 217 回理事会は 2022 年 3 月 7 日開催予定。